

# 第3章 社会における女性の活躍の場の拡大

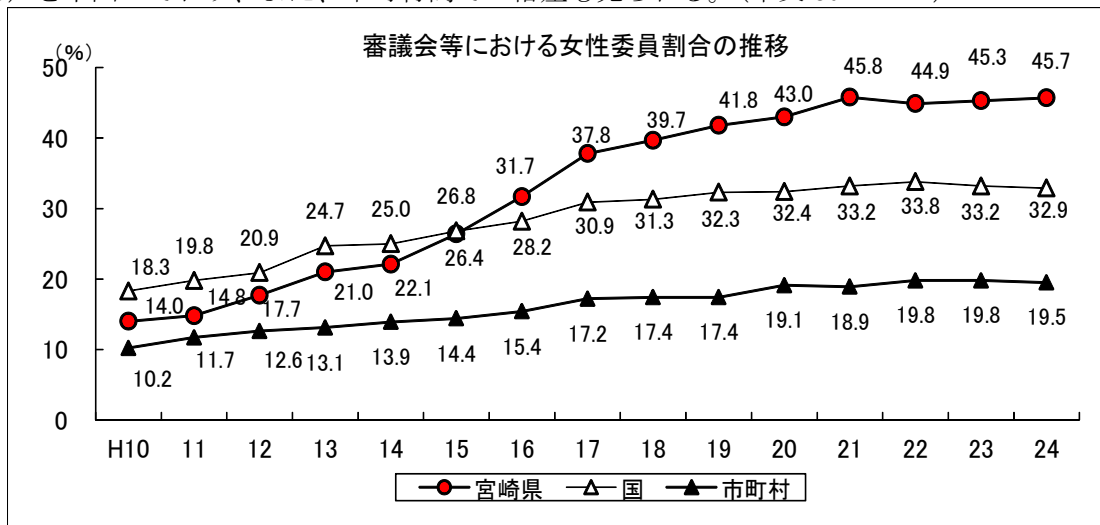
## 1 現状と課題

### (1) 政策・方針決定過程への女性の参画拡大

県では、審議会等委員への女性登用の目標値を「平成26年度末までに50%」と設定し、全庁的に積極的な登用の推進を図ってきたところである。

県の審議会等における女性委員の登用率は年々上昇し、平成24年度は45.7%となっており、国の審議会等の女性登用率32.9%及び全国各都道府県平均(34.5%)を上回っている。

市町村の審議会等の女性委員の登用率(広域の審議会等を含まない登用率)は、平成24年度は19.5%である。全国の市町村平均(広域の審議会等を含んだ登用率24.2%に対し本県は20.4%)を下回っており、また、市町村間での格差も見られる。(本文80ページ)

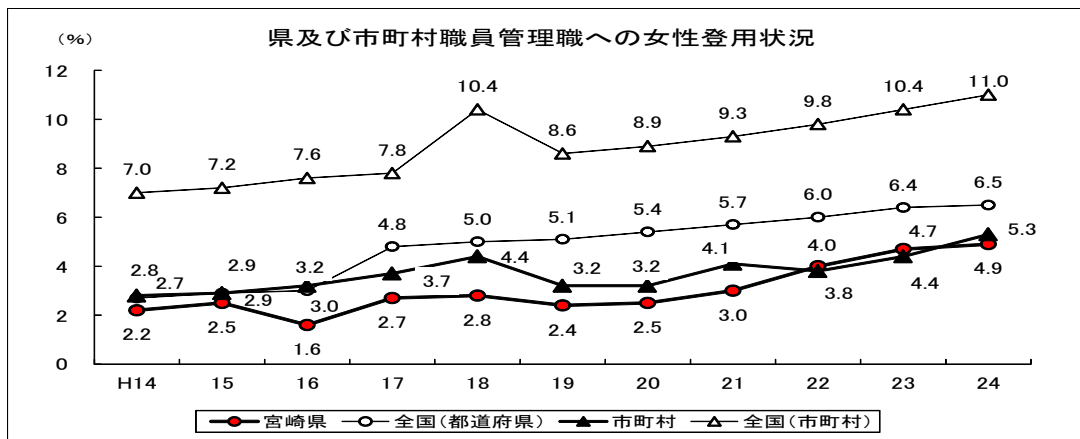


資料：内閣府、宮崎県生活・協働・男女参画課調

(各年度 国は9月30日現在、県は3月31日現在、市町村は翌年4月1日現在)

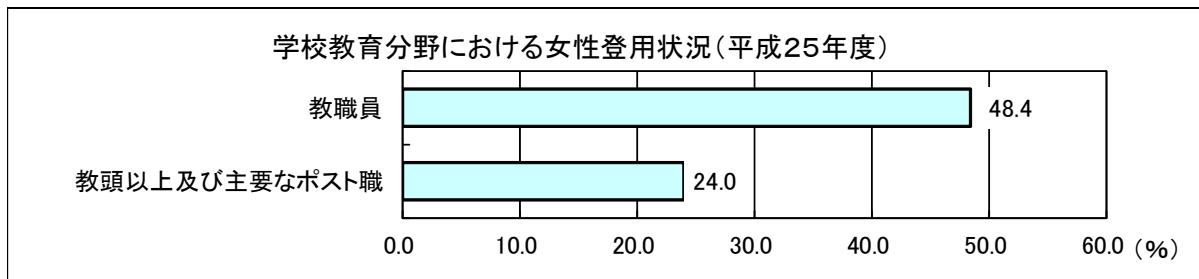
県の管理職(課長級以上職)における女性職員の割合は、平成25年度は5.4%となっており、年々上昇しているが、都道府県平均6.5%を下回っている。(資料87ページ)

また、平成25年度の市町村管理職における女性職員の割合は、5.3%となっており、全国市町村平均11.0%を下回っている。(資料88ページ)



資料：内閣府、宮崎県生活・協働・男女参画課調 (各年度4月1日現在)

※県管理職には、知事部局、企業局、病院局、県議会事務局、教育委員会事務局、各種委員会、警察本部が含まれる。  
 学校教育分野では、公立小・中・高等学校及び特別支援学校における教職員の教頭以上及び主要なポスト職（教務主任、生徒主導主事、保健主事、進路指導主事）に占める女性の割合は、平成 25 年度は 24.0 %となっている。学校教育分野において、方針決定過程への女性の参画が進んできている状況であるが、女性の参画推進に向けて、今後も特に教務主任を中心とした主任層への女性の積極的な登用や就労環境の整備を図っていく必要がある。

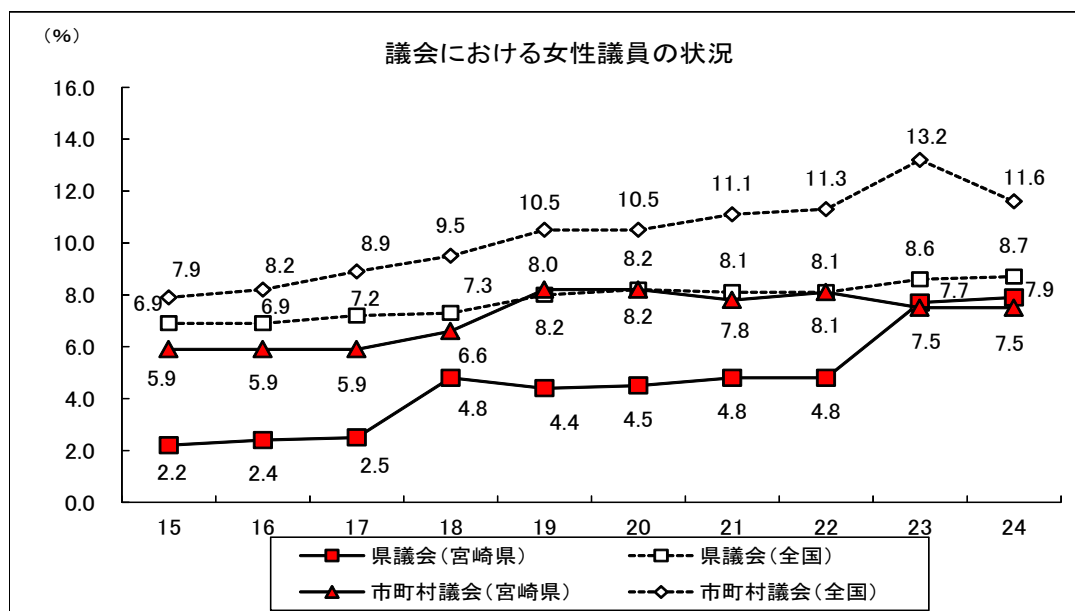


資料：教職員課調（平成 25 年 5 月 1 日現在）

※教職員（校長、副校長、教頭、教諭等）

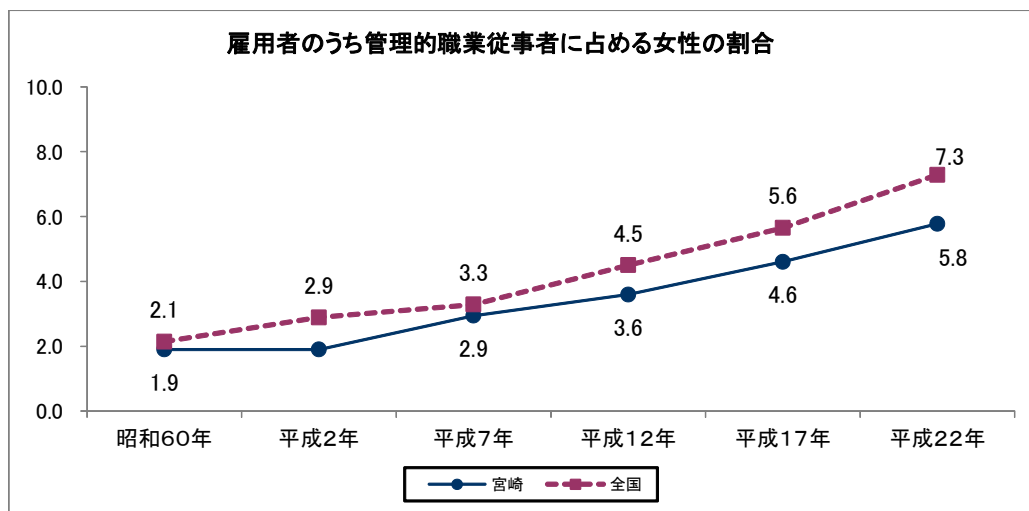
※教諭等には、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、実習教師・実習助手、寄宿舎指導員を計上

議会における女性議員の割合については、平成 24 年 12 月末日現在、県議会 7.9%（現員数 38 人中女性議員 3 名）、市町村議会 7.5%（現員数 424 人中女性議員 32 名）となっており、いずれも全国平均に比べ低い状況である。（資料 87 ページ）



資料：総務省調（各年 12 月末日現在）

県内の雇用者のうち管理的職業従事者に占める女性の割合は年々少しずつ上昇しており、平成22年には5.8%となっているが、全国平均よりは低い水準で推移している。



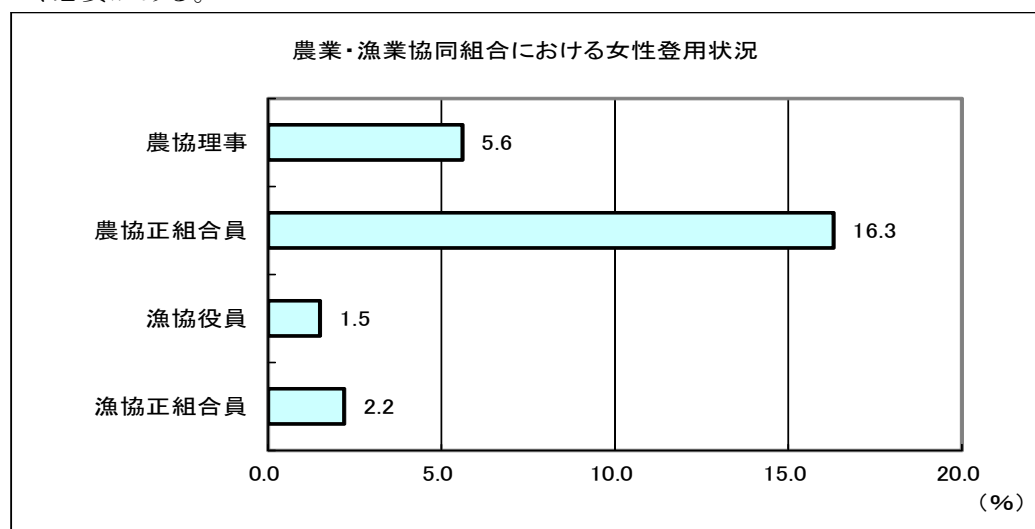
資料：総務省「国勢調査」

農業分野では、平成13年度に「みやざき農山漁村パートナーシップ推進の指標・目標」を定め、方針決定の場への女性農業者の参画を促進しているところであるが、農業協同組合における役員（理事）に占める女性の割合は平成25年1月現在で5.6%となっている。

また、漁業分野では、漁業協同組合の正組合員資格のある女性漁業者が少ないことから、女性役員（理事）の割合も1.5%（各組合の平成24年度事業年度末現在）と少ない状況になっている。

このように、民間企業及び農業・漁業分野における方針決定過程への女性の参画はまだ進んでいない状況であることから、女性の参画促進に向けた広報啓発活動により社会的機運の醸成を図るとともに、就労環境の整備など、企業等における取組を支援する必要がある。

さらに、社会参画に意欲を有する女性のため、あらゆる分野への女性の活躍の場を創出していく必要がある。



資料：地域農業推進課、漁村振興課調

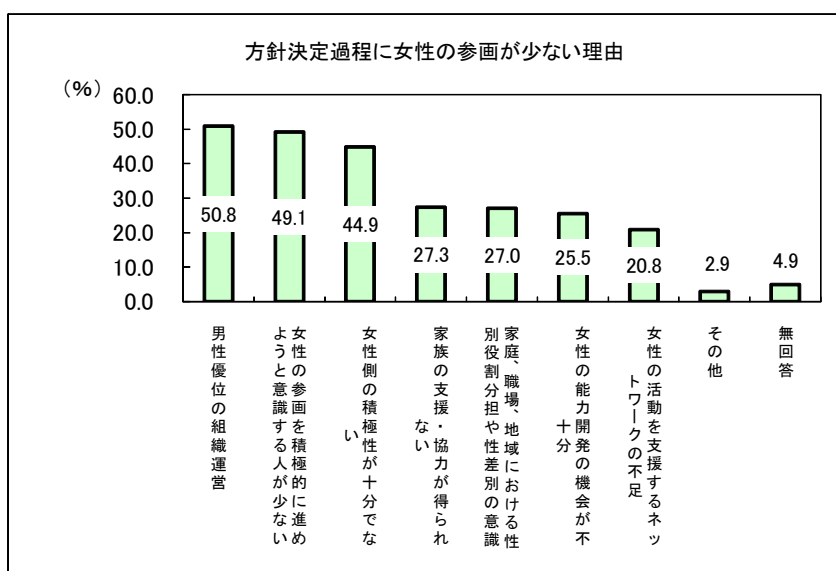
(農業協同組合は平成25年1月現在、漁業協同組合は各組合の平成24年度事業年度末現在)

## (2) 女性のチャレンジ支援

女性がその能力を十分に発揮し、社会の様々な分野に参画することを支援するためには、就業環境の整備と併せ、産業構造の変化や技術革新に対応した知識や技術の修得など職業能力を高めていくことも重要であり、特に結婚や出産、育児のために退職し、再就職を希望する女性の職業能力の向上と再就職のための情報提供など、支援制度の充実が求められている。

## (3) 女性の人材の育成と情報収集・整備

様々な分野で方針決定等の過程に女性の参画が充分進んでいない状況があるが、県民意識調査では、その理由の1つとして「女性側の積極性が十分でない」ことや「女性の能力開発の機会が不十分」であることが挙げられ、女性自身が主体的に様々な課題に取り組み、解決を図っていく力を付けることや潜在能力の開発が求められている。



資料：「男女共同参画社会づくりのための県民意識調査」（宮崎県 平成22年）

## 【「第2次みやざき男女共同参画プラン」指標の数値目標】

指標項目	基準値		目標値		最新の現況値	
	年度	数値	年度	数値	年度	数値
県の審議会委員に占める女性の割合	22	44.9%	26	50%	24	45.7%
市町村の審議会委員に占める女性の割合	22	19.8%	28	30%	24	19.7%
知事部局職員の副主幹ポスト職以上に占める女性の割合	23	8.7%	28	12.5%	25	9.6%
教職員の教頭以上及び主要なポスト職（教務主任、生徒指導主事、保健主事、進路指導主事）に占める女性の割合	23	23.4%	28	25%	25	24.0%
チャレンジ支援後、就職・起業した女性の数（累計）	22	63人	28	120人	24	92人

## 2 施策の実施状況

### (1) 政策・方針決定過程への女性の参画拡大

事業名	概要	当初予算額（千円）		課(室)名
		平成25年度	平成24年度	
男女共同参画調整費 (再掲)	<p>男女共同参画に関する施策について、国・県・市町村との連絡調整を行い、その総合的な運営を図る。</p> <p><b>【宮崎県男女共同参画推進会議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的：男女共同参画に関する施策について関係部局の連絡調整を行い、その総合的な運営を図る。</li> <li>・構成：会長 副知事、副会長 総合政策部長 委員 各部長、危機管理統括監 会計管理者、企業局長、 病院局長、教育長、警察本部長</li> </ul> <p>○24年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H24.6.5 開催</li> </ul> <p><b>【女性登用推進員会議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的：県の審議会等への女性委員の計画的登用を推進する。</li> <li>・構成：各部局総括次長、病院局次長、教育次長、警務部長</li> </ul> <p>○24年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H24.5.31 開催</li> </ul>	(2,046)	(2,132)	生活・協働・男女参画課
農山漁村女性いきいき社会参画支援事業	<p>農林水産業に携わる女性の社会参画に向けた活動に取り組む組織を支援し、農山漁村女性における社会参画を実現し、意欲ある農林水産業の担い手づくりや活気ある地域づくりを推進する。</p> <p>○24年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国会議等への派遣 2名</li> <li>・県段階の意見交換会、研修会の開催 3回</li> <li>・地域段階の研修会、若年女性農業者育成等女性農業者グループ活動支援 8地区</li> </ul>	4,780	5,280	地域農業推進課

### (2) 女性のチャレンジ支援

事業名	概要	当初予算額（千円）		課(室)名
		平成25年度	平成24年度	
輝く女性応援事業 (再掲)	<p>女性の再就職や起業、キャリアアップに関する情報のほか、仕事と家庭の両立支援等に関する情報を集約して提供するとともに、相談事業を実施することにより、様々な分野への女性の積極的な参画を促進する。</p> <p>○24年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>輝く女性応援協議会 1回開催</li> <li>女性のチャレンジ賞表彰 1件</li> <li>チャレンジ支援相談 296件</li> </ul>	—	(2,945)	生活・協働・男女参画課
女性のチャレンジ応援事業(再掲)	<p>様々な分野への女性の参画を促進するため、女性の再就職や起業、キャリアアップ、仕事と家庭の両立支援等に関する情報を一元化して提供するとともに、相談事業を実施する。</p>	(3,595)	—	生活・協働・男女参画課

(3) 女性の人材の育成と情報収集・整備

事業名	概要	当初予算額(千円)		課(室)名
		平成25年度	平成24年度	
地域で進める男女共同参画実践塾(再掲)	男女共同参画の普及啓発に取り組む地域のリーダーと市町村職員を対象に、行政と住民とが一体となって男女共同参画社会づくりを効果的に実践するための研修会を開催することにより、地域における男女共同参画の一層の推進を図る。 ○24年度実績 ①市町村担当職員研修会 1回開催 ②男女共同参画地域リーダー等・市町村職員合同研修会 場 所：県内3地区(宮崎市・日向市・都城市) 参加者：94名	—	1,101	生活・協働・男女参画課
男女共同参画推進地域リーダー養成事業(再掲)	地域で普及啓発に取り組む行政職員や実践活動を行うリーダーへの学習機会を計画的、継続的に提供するとともに、新たに地域で男女共同参画に取り組む意欲のある人材の掘り起こしを行う。	1,619	—	生活・協働・男女参画課
輝く女性応援事業(再掲)	女性の再就職や起業、キャリアアップに関する情報のほか、仕事と家庭の両立支援等に関する情報を集約して提供するとともに、相談事業を実施することにより、様々な分野への女性の積極的な参画を促進する。 ○24年度実績 輝く女性応援協議会 1回開催 女性のチャレンジ賞表彰 1件 チャレンジ支援相談 296件	—	(2,945)	生活・協働・男女参画課
女性のチャレンジ応援事業(再掲)	様々な分野への女性の参画を促進するため、女性の再就職や起業、キャリアアップ、仕事と家庭の両立支援等に関する情報を一元化して提供するとともに、相談事業を実施する。	(3,595)	—	生活・協働・男女参画課
農山漁村女性いきいき社会参画支援事業(再掲)	農林水産業に携わる女性の社会参画に向けた活動に取り組む組織を支援し、農山漁村女性における社会参画を実現し、意欲ある農林水産業の担い手づくりや活気ある地域づくりを推進する。 ○24年度実績 ・全国会議等への派遣 2名 ・県段階の意見交換会、研修会の開催 3回 ・地域段階の研修会、若年女性農業者育成等女性農業者グループ活動支援 8地区	(4,780)	5,280	地域農業推進課
みやぎきの漁業を担う人づくり支援事業	研修会開催等への支援や、普及指導員によるグループ活動等に対する指導により、漁村地域のリーダーを育成する。 ○24年度実績 研修会の実施 4回	—	1,869	漁村振興課
みやぎき未来の漁業担い手確保育成対策事業(再掲)	漁村地域における女性リーダーなどを育成するため、研修会等による資質の向上を図るとともに、普及指導員と連携した食育、魚食普及活動等を推進する。	(1,689)	—	漁村振興課

事業名	概要	当初予算額（千円）		課(室)名
		平成25年度	平成24年度	
先導的活動支援事業 (再掲)	<p>林業後継者グループ等の先導的活動に対し支援し、地域リーダーとして育成する。</p> <p>○24年度実績 16グループで先導的活動や学習会の開催、地域おこしの企画等を実施</p>	(2,000)	(2,000)	森林経営課
生涯学習ホームページ「みやざき学び応援ネット」	<p>多様化する県民の学習ニーズに応え、県民が必要とする生涯学習に関する情報を幅広くかつ迅速に提供し、県民の生涯学習活動を支援する。</p> <p>○24年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間アクセス数 1,079,411件</li> <li>・1日当たりのアクセス数 2,957件</li> </ul>	3,702	3,708	生涯学習課

### 3 今後の取組

#### (1) 政策・方針決定過程への女性の参画拡大

総合政策部では、多様な考え方を生かした豊かで住みよい社会を築いていくため、各種審議会等委員への女性登用を全庁的に推進していくとともに、市町村に対しても、審議会等委員や市町村職員の女性登用促進について働きかけを行っていく。

総務部では、職員の多様な能力を活かす庁内公募制の活用等により、意欲と能力のある女性職員の育成と積極的な登用に努めていく。

農政水産部では、平成13年度に「みやざき農山漁村パートナーシップ推進の指標・目標」を策定し、方針決定の場への女性農業者の参画を促進しているところであり、今後とも「農山漁村男女共同参画推進指針」に沿って、農山漁村の中核となる女性農業者の意識高揚を図るなど、関係機関、団体と連携しながら女性登用を推進していく。

教育委員会では、政策・方針決定過程における女性の参画を拡大するために、教務主任等の主任層への積極的な登用を図るとともに、女性が管理職や主任としても働きやすい環境を整えていく。

#### (2) 女性のチャレンジ支援

総合政策部では、県男女共同参画センターにおいて、女性のチャレンジを支援する相談体制の充実を図ると共に、チャレンジ相談窓口や県庁ホームページにおいて女性のチャレンジに関する情報を広く県民に提供する。

また、起業、NPO活動、地域活動等でチャレンジした功績のある女性の顕彰を行い、ロールモデルとして広く県民へ情報提供を行っていく。

#### (3) 女性の人材の育成と情報収集・整備

あらゆる政策・方針決定過程への女性の参画を進めるため、指導的な役割を果たす女性リーダーを養成するとともに、幅広い分野からの人材情報を収集・整備する。

総合政策部では、行政と住民が一体となって男女共同参画社会づくりに取り組むため、男女共同参画の普及啓発を行う地域のリーダーと市町村行政職員に対し研修会を行うとともに、県男女共同参画センターにおいては、各種講座の充実を図り、人材養成を推進する。

また、女性人材の積極的登用に資するため、女性人材バンクの整備充実など幅広い分野からの人材情報を収集・整備していくとともに、県男女共同参画センターにおいて、登録グループの活動を支援し、団体等の育成を図っていく。

農政水産部では、女性農業者の経営参画や社会参画を促進するための研修会等の開催を支援する。また、農業・漁業に関わる女性組織の運営や起業活動等の支援を行うとともに、農村・漁村における女性リーダーの育成等を推進していく。

教育委員会では、「みやざき学び応援ネット」を通じて、様々な研修会や講座等の講師となる人材情報を提供していく。